



堆肥の効果プラス水分や気温の変化を上手に活かす作業の進め方（初冬採りのカブの例）

えられることと、寒さにあうことによつて、甘くおいしいカブができる、これが第3の条件です。

堆肥は、家畜糞や生ごみなどの地域資源を活かして、健康な土・作物を育てる宝もの。その宝ものの価値は、土壤水分や気温の変化など無償の地域資源を上手に活かす作業によって、いっそう高まり、「丸ごと元気でおいしい野菜」づくりの楽しみがふくらんでいきます。



堆肥は宝もの、土壤水分や気温の変化も堆肥の効果をも高める宝もの

## 丸ごと元気でおいしい野菜をつくる 生ごみ堆肥と肥料の組み合わせ方

平成19年度

企画・発行 財団法人 日本土壤協会

会長理事 松本 聡

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目58 パピロスビル6階

電話：03 (3292) 7281～3 FAX：03 (3219) 1646 HP：http://japan-soil.net/

編集・制作協力 (社)農山漁村文化協会 提携事業センター

取材編集協力 (財)畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所／茂木町有機物リサイクルセンター 美土里館／綱川利男(茂木町)／農業法人(有)ドンカメ／芳賀町 循環システム研究会／茶寮 やすの 安野耕造(宇都宮市)／(有)農業生産法人 茨城白菜栽培組合

写真撮影 倉持正実／小倉隆人／木村信夫